

2014 年度春季大会の専門分科会の実施方式とコンピーナー募集

1. 2014 年度春季大会の専門分科会の実施方式

2014 年度春季大会の専門分科会については、これまでと同じように下記の要領で実施される予定です。

- (1) 2 回に分けてそれぞれ数件ずつ開催する（期日は未定、時間は 3 時間程度の予定）。分科会の運営はコンピーナーに委ねることにし、コンピーナーは公募する。分科会に申し込まれた講演の採否はコンピーナーの判断による（不採用の場合は、申込者の希望に応じて一般口頭もしくはポスター発表への振替になる）。コンピーナーのアレンジによる招待講演も可能、招待講演のみの分科会も認める。
- (2) 分科会の数は一日 2-3 件を基本に考えるが、申込が多かった場合は、「同一会場での一日に 2 件の開催」、「類似テーマのものとの共同開催」、「大会会場外の会場の利用」等の調整を行う予定である。

今後のスケジュールは以下のように予定しています。

10 月 8 日（火）：分科会のテーマとコンピーナーの募集締切（詳細は下記）

12 月上旬：大会告示（「天気」12 月号に掲載）

2 月上旬：講演申込締切

2 月下旬：プログラム編成

補足：会期は 2014 年 5 月 21 日（水）～24 日（土）、会場は開港記念会館・情報文化センター（横浜市）の予定です。

2. 分科会のコンピーナー募集

上記の実施方式に基づき、2014 年度春季大会における分科会のテーマとコンピーナーを募集します。

コンピーナーには、分科会の企画から実施まで全般にわたる世話を担当して頂きます。主な役割としては、

- ・テーマの立案、応募
- ・講演申込の受付、プログラムの作成（招待講演の設定、講演持ち時間の配分、座長の手配等を含む）
- ・大会当日の分科会の運営
- ・大会終了後の報告原稿作成（感想および 400～800 字のレポート）

があります。これらを円滑に進めるため、コンピー

ナーは分科会ごとに複数の方をお願いします。またプログラム編成期（2014 年 2～3 月）には、講演企画委員会と常時連絡がとれるようにして下さい。

応募に当たっては、以下の点に留意して下さい。

- (1) テーマは「メソ」「気候」のような漠然としたものではなく、実質的な議論を深めるという分科会の目的に沿うよう、テーマを絞り明確なコンセプトを持つものにして下さい。なお、テーマは講演企画委員会が適宜調整し、理事会での承認を受けるものとします。
- (2) 大会方式についてのアンケートなどでは「分科会の性格を明確にしてほしい」という要望があります。「最先端の話題について議論を深める」という性格の分科会の他に「啓蒙的な性格で、主に情報提供を目的とする」分科会もあって良いですが、いずれにせよ「趣旨説明」の中で分科会の目指す方向を明確にしてくださいお願いします。
- (3) 分科会の割り当て時間は 3 時間程度です。講演持ち時間はコンピーナーの判断に任せます。ただし、分科会が単なる「時間の長い口頭発表セッション」に終わることのないよう、議論の時間を十分に確保して下さい。
- (4) 招待講演も歓迎します。その内容は必ずしも original paper である必要はありません。招待講演者がすでに決まっている場合にはこれを「趣旨説明」に書くなど、申込者への情報提供を図って下さい。
- (5) 分科会会場の収容人数はそれぞれ 100～200 人の予定です。

3. 申込方法

以下の事項を明記して郵便もしくは E-mail で申し込んで下さい。

- (1) 分科会のテーマ
- (2) 分科会の趣旨説明（200～400 字）
- (3) コンピーナーの氏名・所属および代表者 1～2 名の連絡先（電話・Fax および E-mail）
- (4) (1)～(3) の英語表記

上記 (1)～(3) は連絡先を除き「天気」12 月号に掲載されます。要望があれば連絡先も掲載します。

英語表記のものは学会ホームページに掲載予定の英語版大会告示の中で使用します。

4. 申込先

〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1
気象研究所予報研究部
講演企画委員会

E-mail:kouenkikaku2014s@mri-jma.go.jp

5. 申込期限

2013年10月8日（火）必着

6. テーマの採択

応募されたテーマは講演企画委員会で採否を審査した後、常任理事会の承認を受けて正式に採否が決定されます。